



冬休み前のまとめ

102
171
名前
組
番

知識・技能

/100
点

出題範囲 8. 整数～12. 単位量あたりの大きさ

知識・技能

- 偶数・奇数や倍数・約数、わり算の商と分数の関係がわかる。(1～3)
- 分数を小数で、小数を分数で表すことや人口密度を求めることができる。(4⑤)
- 分数の計算、面積・平均を求めることができる。(6～9)

1 下の整数を、^{ぐうすう}偶数と^{きすう}奇数に分けましょう。(完答)各5点[10]

32 59 60 85 101 138

- ▶ 偶数 (^{〈順不同〉} 32、60、138)
- ▶ 奇数 (^{〈順不同〉} 59、85、101)

2 次の整数の中から、^{ばいすう}6の倍数と^{やくすう}24の約数を見つけ、すべてかきましよう。(完答)各5点[10]

2 6 9 12 24 36

- ▶ 6の倍数 (^{〈順不同〉} 6、12、24、36)
- ▶ 24の約数 (^{〈順不同〉} 2、6、12、24)

3 次の商を分数で表しましよう。(各5点[10])

- ① $3 \div 5$ ($\frac{3}{5}$)
- ② $27 \div 7$ ($\frac{27}{7}$ ($3\frac{6}{7}$))

4 分数を小数で、小数を分数で表しましよう。(各5点[10])

- ① $\frac{4}{5}$ ^{〈考え方〉} $4 \div 5 = 0.8$ (0.8)
- ② 0.7 ^{〈考え方〉} 0.7は0.1が7個分。
 $\frac{1}{10}$ が7個分で $\frac{7}{10}$ 。($\frac{7}{10}$)

5 西山町の面積は 35km^2 で、人口は8680人です。
西山町の^{じんこうみつど}人口密度を求めましよう。(式・答え各5点[10])

(式)
 $8680 \div 35 = 248$

式の採点基準

~~~~の部分<sup>が</sup>正しければ、  
5点を配点してもよい。→5⑦～9

答え (  $1\text{km}$ あたり)248人 )

6 計算をしましよう。(各5点[20])

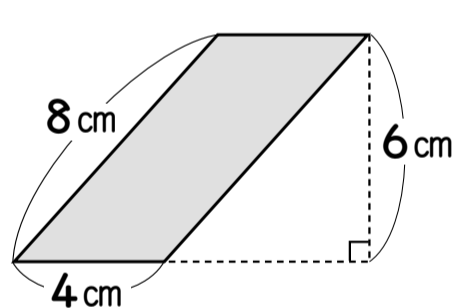
① <sup>※約分あり</sup>  $\frac{2}{3} + \frac{5}{6} = \frac{4}{6} + \frac{5}{6} = \frac{9}{6} = \frac{3}{2}$  (  $\frac{3}{2}$  ( $1\frac{1}{2}$ ) )

② <sup>※約分なし</sup>  $1\frac{1}{6} + 1\frac{2}{9}$  (例)  $= \frac{7}{6} + \frac{11}{9} = \frac{21}{18} + \frac{22}{18} = \frac{43}{18}$  (  $\frac{43}{18}$  ( $2\frac{7}{18}$ ) )

③ <sup>※約分なし</sup>  $\frac{7}{8} - \frac{1}{3} = \frac{21}{24} - \frac{8}{24} = \frac{13}{24}$  (  $\frac{13}{24}$  )

④ <sup>※約分あり</sup>  $2\frac{7}{10} - 1\frac{1}{6}$  (例)  $= \frac{27}{10} - \frac{7}{6} = \frac{81}{30} - \frac{35}{30} = \frac{46}{30} = \frac{23}{15}$  (  $\frac{23}{15}$  ( $1\frac{8}{15}$ ) )

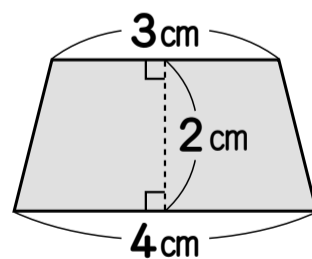
7 下の平行四辺形の面積を求めましよう。(式・答え各5点[10])



(式)  
 $4 \times 6 = 24$

答え (  $24\text{cm}^2$  )

8 下の台形の面積を求めましよう。(式・答え各5点[10])



(式)  
 $(3 + 4) \times 2 \div 2 = 7$

答え (  $7\text{cm}^2$  )

9 <sup>へいきん</sup>平均を求めましよう。(式・答え各5点[10])

1.2g、0.9g、1.5g、1.1g、0.8g

(式)  
 $(1.2 + 0.9 + 1.5 + 1.1 + 0.8) \div 5 = 1.1$

答え ( 1.1g )

うらの問題もやりましよう。



冬休み前のまとめ

102  
171  
名前

組 番

思考・判断・表現

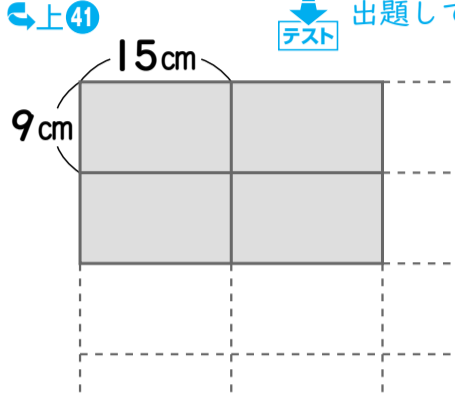
/100  
点

出題範囲 8. 整数～12. 単位量あたりの大きさ

思考・判断・表現 問題の場面を考えて、答えを求めることができる。(1～5)

1 たて9cm、横15cmの長方形のカードを、下の図のようにならべて、できるだけ小さい正方形をつくりまします。

ドリル この問題は、ドリル「算数の力」でも 各10点[20]  
出題しています。  
テスト



① いちばん小さい正方形の1辺の長さは、何cmになりますか。

〈考え方〉  
9と15の最小公倍数は45

( 45cm )

② いちばん小さい正方形をつくるには、長方形のカードは何まいいりますか。

〈考え方〉 たて  $45 \div 9 = 5$   
横  $45 \div 15 = 3$   
 $5 \times 3 = 15$

( 15まい )

2 1.2Lで180円のAのジュースと、1.5Lで240円のBのジュースがあります。どちらのほうがか安いといえますか。

式・答え各10点[20]

(式)

A  $180 \div 1.2 = 150$   
B  $240 \div 1.5 = 160$

式の採点基準

～の部分が正しければ、10点を配点してもよい。→2～4

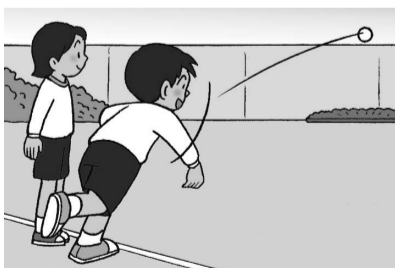
答え ( A(のジュース) )

3 下の表は、5年生男子のソフトボール投げの記録です。5年生男子全体の投げたきよりの平均は何mですか。

式・答え各10点[20]

ソフトボール投げの記録(5年生男子)

|    | 人数  | 投げたきよりの平均 |
|----|-----|-----------|
| 1組 | 14人 | 29m       |
| 2組 | 16人 | 26m       |



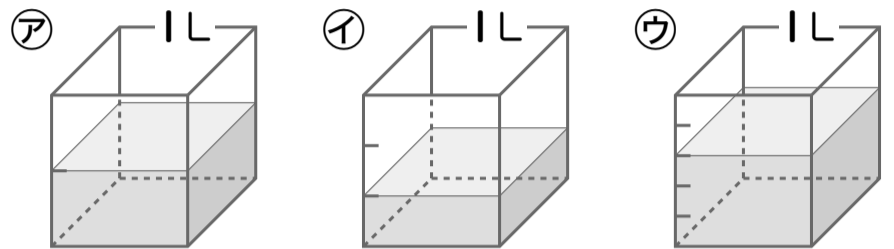
(式)

$29 \times 14 + 26 \times 16 = 822$   
 $14 + 16 = 30$   
 $822 \div 30 = 27.4$

答え ( 27.4 m )

4 1Lの水がはいる3つのいれものに、それぞれ水がはっています。ア～ウのうち、2つのいれものの水をあわせます。1Lのいれものから水があふれるのは、どれとどれをあわせたときですか。

式・答え各10点[20]



(式)

アとイ  $\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{5}{6}$

アとウ  $\frac{1}{2} + \frac{3}{5} = \frac{11}{10}$

イとウ  $\frac{1}{3} + \frac{3}{5} = \frac{14}{15}$

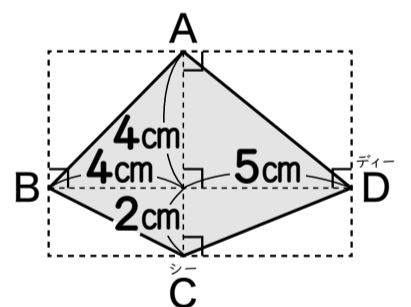
(完答)〈順不同〉

答え ( ア と ウ )

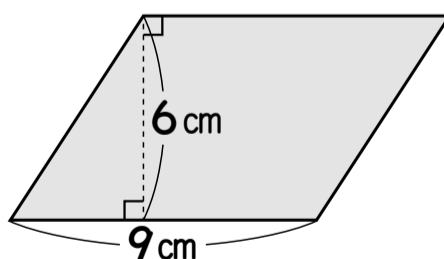
力をつける問題

5 右の四角形ABCDと面積が同じ図形を、カ～クから2つ選び、記号で答えましょう。

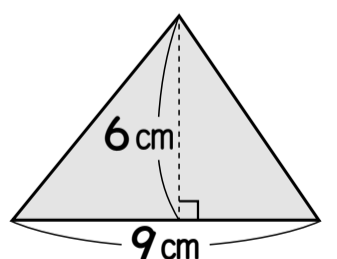
下4689 各10点[20]



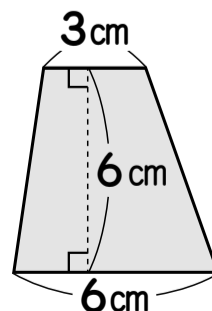
カ 平行四辺形



キ



ク 台形



問題のねらい

四角形ABCDの対角線の長さと同図形の底辺や高さの関係に着目して考える問題です。

〈順不同〉

( キ と ク )